

都道府県事業実施状況報告書及び評価報告書

整備事業  
産地競争力の強化を目的とする取組用

(千葉県 平成 29 年度)

市町村名	事業実施主体名 (対象作物・畜種等名)	メニュー	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標の具体的な内容	事業実施後の状況						成果目標の具体的な実績	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
				計画時 (平成25年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率				計画時 (平成25年)	1年後 (平成26年)	2年後 (平成27年)	3年後 (平成28年)	目標値 (平成28年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
君津市	株式会社サとまとガーデン	野菜(トマト)	反収を16%増加	11.1t (31.4t/0.283ha)		9.7t (77.1t/0.794ha)	11.6t (92.06t/0.794ha)	12.9t (102.4t/0.794ha)	27.7%	トマトの反収が0.5t増加した	野菜(トマト)	契約出荷率を31ポイント増加	45%	30%	75%	76%	96.7%	トマトの契約出荷が30.0%増加した	・ガラス温室(5,184㎡) ・養液栽培施設	216,000,000	100,000,000	0	0	116,000,000	平成27年5月29日	反収については、病気の多発を受けて一斉植え替えを行ったため、6月から8月までの収穫が無く、目標まで届かなかった。契約出荷については安定的に取り組んだが、わずかに目標達成には至らなかった。今後は、課題となっている反収増加に引き続き取り組むとともに、契約出荷の目標達成を早急に実現する。	28年度は病害虫の発生により十分な収穫期間を確保できず、収量が安定しなかったため反収増加目標の達成が不十分となった。他方、契約出荷率増加は達成が間近となった。引き続き目標達成に向けて必要となる栽培技術の向上に注力し、改善を図る必要がある。		
成田市	農事組合法人花の生産者組合	花き	1,000㎡あたり労働時間を30.9%削減	2,988時間		2,694時間	2,065時間	31.8%	省力機械の導入、新設ハウスによる栽培管理により、1,000㎡あたり労働時間が9.8%削減された	花き	契約取引率を21.1%増加	43.4%		68.2%	64.5%	117.5%	コスト削減による既存契約先との取引増加により契約取引割合が24.8%増加した	耕種作物共同利用設備整備 低コスト耐熱性ハウス2棟 4,080㎡ ポツェングマシン1台 シーダー1台	114,247,277	52,892,000	0	0	61,355,277	平成27年11月16日	機械の導入により播種・土入れ作業が軽減、さらに、新設ハウスの整備により栽培管理などの手管理作業の削減が図られた。また、コスト削減により単価を抑えることで、既存契約先との契約取引割合の増加につながった。	契約取引率は、成果目標を達成できたが、1,000㎡あたり労働時間は、目標達成率31.9%と未達成である。引き続き省力化機械や適切な栽培管理を工夫し、労働時間の削減に努める必要がある。			

都道府県平均達成率	68.4%	総合所見	県平均の達成率は68.4%と目標値未達成であった。これは君津市の生産技術高度化施設における反収の増加率及び成田市の生産技術高度化施設における労働時間削減が目標通り進んでいないことによる。今後の成果目標の達成に向け、関係機関が連携して改善指導を実施していく。
-----------	-------	------	--

- (注) 1 別紙様式1号の2の に準じて作成すること。  
 2 要綱第3の4の(2)のアのただし書きの場合にあっては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。